

## 平成 22 年度 第 2 回 常務理事会議事録

日時：平成 22 年 6 月 18 日 18 時 30 分より

場所：岐臨技事務所

出席者（10 名）

北村・永井・石郷・近藤・兼子・田中・鈴木・  
臼井・山本・平沢

### 1) 特例民法法人の平成 21 年度事業報告事項について

昨年分の活動報告などの書類すべて 2 部取っておいて、開催案内、議事録、学術案内など行った事や行事は 21 年度事業報告書として県へ提出しなければならないので、全て保管しておくこと。会員名簿を提出できるように。

平成 21 年度の事業報告書については、西村さんと種村さんに連絡を入れ、確認をする。

### 2) 平成 22 年度理事役務分担の確認について

平成 22 年度第 1 回定期総会議案書の平成 22・23 年度 役員及び役務分担一覧表に基づいて、役員の役割の確認をした。

次回の理事会までに、新役員地区理事は、各々で戸籍抄本を提出して貰う。

新役員にメール等を使って確実に連絡をする。

### 3) 第 51 回中部地区医学検査学会の担当について

- ・東濃地区では会場等、色々な事情が難しいため、岐阜地区の会場でお願いしたい。
- ・500 人以上 1000 人未満の県外の会員参加でコンベンションを使えば、補助金が出る。
- ・会場として岐阜市内の十六プラザを考えている。(未来会館、岐阜市民会館など)
- ・会期 2 日間での開催で検討している。
- ・22・23 年度で学会準備費を設定する必要がある。

### 4) 役員会議等の交通費等について

役員交通費比較表の提出がありこれについてについて説明があった。

- ・交通手段、距離数などで、最低金額などを含めての計算をするかどうか検討が必要。
- ・今年度の日当については、今回の常務理事会で案を出して、次回の理事会にて協議、決定するまでは出さないという方針だったので、ここで交通費改定案を決めてもらえば良いです。
- ・交通費の雛形が出来て、会員の皆さんがキチッと納得できるものが出来れば、良いと考えている。
- ・移動距離計算は、平日の場合、職場から事務所まで、事務所から自宅までが基本です。

- ・休日については、職場から事務所なのか、自宅から事務所なのか検討してください。

これより審議内容

- ・人によっては、自宅のほうが職場からよりも遠くなる場合と、近くなる場合がある。
- ・昨年度も同じ問題が提起されたが、自宅の住所を教えてもらえば、距離の計算は可能。
- ・事務所において勤務先と自宅の両方を登録しておく方法がある。(JAMT を利用)
- ・本来、自宅と勤務先の間は、勤務先から支給されているのだから、勤務先からの計算でも良いのではないか。
- ・高速料金について、将来的に無料になる可能性もあるが、現時点ではどうするのか。
- ・高速料金分は、無しとするのか。
- ・日当はきちんと出すが、交通費の最低限をどうするのか。
- ・近い人（例えば 500 円未満の場合）は、日当 1000 円に含めてしまうなどの案がでた。
- ・節約を念頭において考えなければならないので、今までと比較して、妥当な金額なら良いと考える。
- ・交通費用が、超過するような事態があってはいけないと考える。
- ・交通費は細かい端数についても支払うのか。
- ・端数は四捨五入するのか。切り捨てるのか。切り上げるのか。
- ・100 円台に切り上げるというのはどうか。仮にそうしたとしても昨年までの交通費よりは予算的には少なくなる。
- ・100 円単位の支給方法で良いか。
- ・休日で、勤務先-自宅間の距離のある人で、基点を勤務先か自宅にするかは、その時に自己申告してもらうようにする。

最終的に、

- ・ガソリン代は 200 円計算で良いか。1ℓで 10km で良いか。
- ・平日は、職場から事務所まで、事務所から自宅までが基本。
- ・土日は、自宅から事務所まで、事務所から自宅まで。
- ・それぞれ自宅の住所の登録を行う。
- ・その当日に払う事を考慮すると距離のある人で、高速を利用した、しなかったで、金額が変わっていますので、どうするのか。
- ・それとも、高速を使用しなかった日は、高速料金分を寄付してもらう。

※次の理事会で検討し承認を得てから、次回の常務理事会（8月）で最終決定という日程で良いか。

※次の理事会で、地区活動費を配布して貰いたい。各地区 2 万円。準備をお願いします。領収書無しは返金とする。

## 健康まつりについて

機器リース料4万円が予算枠に入れてあるから、領収書を必ず提出してください。

各地区の活動費は、健康まつりに使用していいのかは各地区で話し合っておいて欲しい。

地区として貰っているの、他の地域の人が納得するように説明しておいてもらいたい。

予算としては、16万円あるが、その配分方法については、各地区4万円ずつで良いか。

今年の実績で、来年度の予算配分は、各地区での増減を加味して貰っても良い。

やり方次第だから、いろいろメーカーとも交渉などをして、安くしてもらって下さい。

岐臨技として活動しているので、公益事業として認められるのかどうか、必要である。

今のところは、各地区が中心となって行っている。

手伝いに来てくれた人に日当を出すのは？ 1000円が出ているはず。一日通して行っているの、これは昼食代になっている。

- この話は、岐臨技が主催なら良いが、地方都市が主催なので、地区理事はその一部のブースを借りて行っているに過ぎない。

名簿に応じて、日当は支払っているはずなので、あくまでもボランティアなのでその範囲内で行ってほしい。

今お金が無いときに、大盤振る舞いは出来ない。それこそ予算オーバーした時には、自腹を切らなくてはならなくなり昨年度の事態を考えると、そこは理解してもらいたいので、地区活動費2万円、機器リース代4万円で賄って下さい。

地区として地区活動費を健康まつりに全額使用して良いかどうか、理事会等できちっとした意見の統一をしておいた方が良さだろうと思う。

予算的には、各地区合わせて16万円あるが、一つの地区が突出して多く支出する事は止めて欲しい。

とにかく今年だけは、今の範囲内でやって欲しい。

岐阜市の場合は、ボランティアとしての参加要請なのか、協賛としての参加要請なのか、最終的には、岐臨技が岐阜の健康まつりに参加するという立場なのかという事になってくる。今までの健康まつりの時に、会長名宛に参加依頼文書、協力依頼文書が来ているのか？来ていなければ、岐臨技としては、関係が無いということも言える。

大垣市は、大垣市長名で、依頼文書が来ている。

日臨技からの補助が今年度は期待できないので、その範囲内で行って下さい。

## 5) 各部長報告について

### 広報宣伝部

- 会報については、PDF化は進めるが、会員の状態によっては、文書の方がよい可能性も高いと思われるので、今年度はA4用紙両面に印刷し、各施設1部を定期郵便により配布する。
- 今までは1回3万円、年5回発行で合計15万円の予算で施行していたが、今年度は、部

員が紙面構成を行い、印刷会社を使わずに行うと、1回6千円で行けそうなので年5回発行するとして、年間3万円程度なので、12万円ほど安くなりそうだ。会議費などが掛かりますが、年間10万円以内くらいの出費に抑えたいと考えています。

- ・原稿依頼者には、図書券(500円)を渡すようにしてはどうか。(雑費5000円を利用して、10人に原稿依頼できる。)
- ・原稿を集めるのにも、大変苦勞しているから、原稿が集まるのであれば、良い方法と思われる。

## 学術部

班長会議議事録(平成22年6月1日開催)より

### 3. 第49回中部医学検査座長4名についての報告

生理:野久 臨床化学:渡邊 輸血:佐藤 病理:浅野

以上4名の座長について会長の了承を得て報告してあります。

### 4. 研修会開催後の会計処理について

会計士さんから、早く行う様にとの指示があったので報告の手順について再確認した。

### 5. 非会員について

新人会員については、300円を徴収、前回の理事会では、ここまでの承認でしたので、今後、非会員については、2000円徴収する案を軸に、岐臨技会員のメリットを出して行きたい。また、県外、他職種の技師に関しても300円を徴収する方向でどうだろうか。

### 6. 平成22年度岐阜県臨床検査技師会誌の計画報告については、学術カレンダーで確認して下さい。

### 7. 全国学術部長会議の報告では、携帯サイトからの情報取得を考慮し、急いで「携帯学術カレンダー2010」(QRコード)を作成して各研究班長に報告した。

今度の理事会で承認を取って、20日の発送で流したいと思っています。

愛知・岐阜・三重 三県合同の生理検査研究班について

収入のところで、計画案として出ている『参加多数により黒字であった場合は主催県である愛知県の収入とする』内容について

各県1万円の支出をお願いしたいとの事で、常務理事会で検討して承認が取れば、森さんに報告したい。

このような研究会の中には、各県の会長が知らないという事もあります。

そういう許可が無いのに、こういう文面(研修会案内)が書かれたという事に問題となった。

前から合同研究会をやりたいと言っていたが、それならそういう格好にすれば良いのに、何処にも技師会の名前が無い。

お金を出せと言うなら、キチッと共催について愛知の方から依頼文があって、それに

対してオーケーを出せばそれで良いのに、そういったことが一切ないので、今後こういった事は、方法をキチッと決めて行こうとした矢先にこれが出たので、愛知県の方から何らかのアクションがあると思う。

主催となる県がキチンと手続きを踏んでくれないと困る。

正式な文書が発令されれば、各県ともに検討・協議を行う事ができるけど、これでは協議できないよ。という事。

9月のことなので、間に合わなくなる可能性もある。

非会員の2000円について

最初は5000円だったが、他県では2500円程度なので2000円で如何でしょうか。

今度の理事会で承認が得られたら、20日の案内で、いつからの研究会からかを連絡するようにしたい。

※シスメックスのランチョンセミナーは業者から止めますとの返事があった。

#### 精度保障事業部

●大判の用紙を廻し読み。

「本年度からの標準化の全国の施設一覧」が出ました。その中に岐阜県の施設も登録されています。間違いがないか確認済みです。

パワーポイントの内容（平成22年度日臨技臨床検査データ標準化事業実施スケジュール）と、臨床検査データ標準化事業に関する2010年度計画のついでの説明。

●試料作成のスケジュールなどについて説明。

●会長は、市民病院の方には、スケジュール最後に一言挨拶をしてもらいたい。

●詳細については理事会で多和田さんから説明があります。

●メーカーは増えている。

#### 会計部

・平成22年度特例民法法人岐阜県臨床検査技師会月別決算表についての説明

・賛助会員収入については、今後少しは増えそう。

・5月分の収入および支出状況について説明がなされた。

※会計士（監事）に月毎に報告して見てもらったほうが良いと思われるが。必要なら、会長や監事の確認印を押していくのもよいのではないかな。

#### 1. 送料の節約について

理事会で持って行ってもらえる文書類は持っていった方が良いのか。

※各施設責任者に、メールで良いのか、文書の方が良いのか、うちは1部が良いですよ。それとも全部岐臨技のホームページを見なさいとするのか

その辺を確認した方がよいのではないかな。

## 2. 会議の開催について

※班長会など会議については、会長・会計が知らないうちに開催されている場合もあるので、誰に連絡するのかを決めてほしい。

- ・出来れば1週間前くらいまでには、把握したい。(開催場所、時刻、人数、お弁当の有無などを連絡してもらいたい)

## 3. 各種書類の取扱いについて

- ・書類の提出期限を早めに、発送の1週間前までには依頼してもらいたい。
- ・各研究班などの研修会案内での会長印の省略。
- ・過去の文書、領収書などの保存は定款に記載(帳簿の保存)
- ・監事さんに相談して下さい。

## 4. 名簿について

- ・県に提出する名簿を作成する必要がある。確認方法などについて検討。

## 6) その他報告事項について

- ・公益法人の法人格取得に関するセミナーについて  
確認事項(総会の回数、会計基準などについて)
- ・どのような形態の法人にするのかを今年度中に決めたほうが良い。
- ・平成20年度会計を基準としてやっていってもらいたい。
- ・352法人の中で公益法人を取ったのは、4団体。
- ・一般法人で行く場合には、赤字決算でなくてならない。(赤字事業を1つは作って下さい。とのこと)財産をその赤字に充てていくという発想らしい。
- ・精度管理は間接的な公益事業になってしまう
- ・来月にもセミナーがありますので、時間の取れる方は出席して下さい。
- ・県からの相談会は、1回しか出れないので、資料を揃えて個別相談に行ってみたい。